

第86回 簿記実務検定第 3 級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金
有	価	証	券	前	払	金	土		地	支	払	手
買	掛	金	当	座	借	越	前	受	金	仮	受	金
商	品	券	引	出	金	売			上	有	価	証
仕	入									券	売	却
										損		

- 商品券 ¥70,000 を発行し、代金は現金で受け取った。
- 岩手商店から商品 ¥300,000 を仕入れ、代金はさきに支払ってある内金 ¥60,000 を差し引き、残額は掛けとした。
- 店舗を建てるため、土地 ¥5,300,000 を購入し、代金は登記料と買入手数料の合計額 ¥180,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- 鳥取商店から売掛金 ¥390,000 を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。ただし、当座借越勘定の残高が ¥240,000 ある。
- 広島商店に対する買掛金の支払いとして、さきに得意先岡山商店から商品代金として受け取っていた約束手形 ¥410,000 を裏書譲渡した。
- 出張中の従業員から当店の当座預金口座に ¥50,000 の振り込みがあったが、その内容は不明である。
- 事業主が、所得税の予定納税額の第1期分 ¥34,000 を、店の現金で納付した。
- 売買目的で保有している島根商事株式会社の株式25株（/株の帳簿価額 ¥45,000）を/株につき ¥48,000 で売却し、代金は当店の当座預金口座に振り込まれた。

2

山口商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

6月/9日 商品売買の仲介をおこない、岩国商店から手数料として現金 ¥21,000 を受け取った。

(伝票番号 No.48)

〃 日 下関広告社に、広告料 ¥130,000 を小切手#24を振り出して支払った。

(伝票番号 No.57)

3

山形商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の現金勘定と売掛金勘定に転記しなさい。

(2) 売上帳と売掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、現金勘定と売掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

/月 5日 宮城商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥100,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

A 品 900個 @¥300 ¥270,000

B 品 500〃 " "240 ¥120,000

/10日 秋田商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 320個 @¥500 ¥160,000

/12日 秋田商店に売り渡した上記商品の一部に品違いがあったので、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

A 品 10個 @¥500 ¥ 5,000

/17日 福島商店に次の商品を売り渡し、代金の一部については、下記の約束手形#/6で受け取り、残額は掛けとした。

A 品 380個 @¥500 ¥190,000

B 品 200〃 " "400 ¥ 80,000

No. 16 約束手形		支払期日 平成〇年 3月 17日		福島 0701 0914-007
山形県山形市あかねヶ丘1-9-1 山形商店 山形 太郎 殿		支払地 福島県福島市		
金額 ¥200,000		支払場所 株式会社 全商銀行福島支店		
収入 印紙 200円 福島	上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします 平成〇年 1月 17日 振出地 福島県福島市丸子字辰ノ尾1 住所 福島商店 振出人 福島 一郎 (福島)			

29日 福島商店から売掛金の一部 ¥120,000 を同店振り出しの小切手#9で受け取った。

4

次の各問いに答えなさい。

(1) 東北商店（個人企業）の下記の資本金勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 期間中の収益総額

b. 期首の負債総額

資 本 金			資 料		
12/31 次期繰越	8,250,000	1/1 前期繰越()	i 期間中の費用総額	¥5,130,000	
		12/31 損 益()	ii 当期純利益	¥1,180,000	
	8,250,000	8,250,000	iii 期首の資産総額	¥9,500,000	

(2) 青森商店は商品有高帳を移動平均法によって記帳している。次の商品有高帳によって、(ア)に入る金額と(イ)に入る数量を求めなさい。

		商 品 有 高 帳								
(移動平均法)		品 名 A 品								
		受 入			払 出			残 高		
平成 〇年	摘 要	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
5	1 前月繰越	100	800	80,000				100	800	80,000
	11 弘前商店	400	850	340,000				()	(ア)	()
	14 黒石商店	300	760	228,000				()	()	()
	15 八戸商店				400	810	324,000	()	()	()
	22 三沢商店	200	750	150,000				(イ)	()	()
	29 八戸商店				200	790	158,000	()	()	()
	31 次月繰越				()	()	()			
		()		()	()		()			

(3) 次の文の にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

総勘定元帳のすべての勘定の借方合計金額と貸方合計金額は、貸借平均の原理によって必ず一致する。この原理を利用して、仕訳帳から総勘定元帳への転記が、正しくおこなわれているかを確かめるために作成する表を という。

1. 損益計算書

2. 試算表

3. 現金出納帳

5

沖縄商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の決算整理事項は次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
- (2) 備品勘定に必要な記入をおこない、締め切ちなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ￥789,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ￥1,280,000 残存価額は零（0） 耐用年数は8年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$

- d. 現金過不足勘定の ￥4,000 は雑益とする。
- e. 引出金勘定の ￥32,000 は整理する。

第86回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [答案用紙]

1	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		
h		

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	5 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	---------	-----

試験場校	受験番号

入 金 伝 票		No. _____				
平成○年 月 日						
科目	入金先	殿				
摘	要	金	額			
合	計					

科目		支払先	殿					
摘 要		金 額						
合 計								

勘定科目		借方							勘定科目							貸方												
合 計									合 計																			
摘要																												

1

[illegible]

1

平 ○ 年	摘 要	借 方	平 ○ 年	摘 要	貸 方
/	/	前期繰越	✓	380,000	

 Δ [illegible]

(2) (注意) 売上帳と売掛金元帳は締め切ること。

帳 上 売

1

[illegible]

帳元金掛売

秋田商店

1

[illegible]

福 島 商 店

2

平成 〇年	摘要	借方	貸方	借は また貸	残高
/ /	前月繰越	190,000		借	190,000

4

(1)

a	$\frac{2}{f}$	b	$\frac{2}{f}$
---	---------------	---	---------------

(2)

ア	$\frac{2}{f}$	イ	箱
---	---------------	---	---

(3)

2

得点

3

得点

4

得点

(1)

精 算 表

平成○年/2月3/日

[illegible]

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

	備	品	6
1 / 1 前期繰越	480,000		

5
得点

1	借 方		貸 方	
	借	方	貸	方
a	現 金	70,000	商 品 券	70,000
b	仕 入	300,000	前 払 金	60,000
			買 掛 金	240,000
c	土 地	5,480,000	当 座 預 金	5,480,000
d	当 座 借 越	240,000	売 掛 金	390,000
	当 座 預 金	150,000		
e	買 掛 金	410,000	受 取 手 形	410,000
f	当 座 預 金	50,000	仮 受 金	50,000
g	引 出 金	34,000	現 金	34,000
h	当 座 預 金	1,200,000	有 価 証 券	1,125,000
			有 価 証 券 売 却 益	75,000

2

入 金 伝 票		No. 48	
平成〇年6月19日			
科目	受取手数料	入金先	岩 国 商 店 股 会 社
摘要	商品売上の仲介手数料	金額	210,000
合 計			210,000

出 金 伝 票		No.	
平成〇年 月 日			
科目	支払先	金額	
摘要			
合 計			

3

振 替 伝 票		No. 57	
平成〇年6月19日			
勘 定 科 目	借 方	勘 定 科 目	貸 方
広 告 料	130,000	当 座 預 金	130,000
合 計	130,000	合 計	130,000

摘要 下関広告社に広告料支払い 小切手#24振り出し

3 (1)

仕 訳 帳		1	
平 成 〇 年	摘 要	借 方	貸 方
/	前期繰越高	5,170,000	5,170,000
5	(仕 入) 諸 口	390,000	
	(現 金)		100,000
	(買 掛 金)		290,000
10	(売 掛 金)	160,000	
	(売 上)		160,000
12	(売 上)	5,000	
	(売 掛 金)		5,000
17	諸 口 (売 上)		270,000
	(受 取 手 形)	200,000	
	(売 掛 金)	70,000	
29	(現 金)	120,000	
	(売 掛 金)		120,000

総勘定元帳

現 金		1	
平 成 〇 年	摘 要	借 方	貸 方
/	前期繰越	380,000	15
29	売 掛 金	120,000	仕 入
			100,000
売 掛 金		4	
平 成 〇 年	摘 要	借 方	貸 方
/	前期繰越	420,000	12
10	売 上	160,000	売 上
17	売 上	70,000	29
			現 金
			120,000

帳上壳

平成 ○年	摘	要	内	訊	金	額
1 10	秋田 商店	掛付				
	A 品	320個 @¥500				160,000
12	秋田 商店	掛付返品				
	A 品	10個 @¥500				5,000
17	福島 商店	約手・掛付				
	A 品	380個 @¥500		190,000		
	B 品	200〃 〃〃400		80,000		
31		総売上高				430,000
〃		売上返品高				5,000
		純売上高				425,000

秋田商店

秋田商店		貸主貸		残高	
平 ○	摘要	借方	貸方	借	貸
/	前月繰越	230,000		借	230,000
10	売り上げ	160,000		〃	390,000
12	返品		5,000	〃	385,000
31	次月繰越		385,000		
		390,000	390,000		

福島商店 2

平準 〇平均	摘要	借方	貸方	性質 貸借	残高
/	前月繰越	190,000		借	190,000
17	売り上げ	70,000		〃	260,000
29	回収		120,000	〃	140,000
31	次月繰越		140,000		
		260,000	260,000		

(I)

a	6,310,000	b	2,430,000
---	-----------	---	-----------

(2)

7	840	1	600 箱
---	-----	---	-------

$$\omega$$

2

(1)

精 算 表

[illegible]

(2) (注意) 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

備 品		6
1 / 1 前期繰越	480,000	160,000
12/31 減価償却費		320,000
次期繰越	480,000	480,000

- i 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
- ii 勘定科目欄の当期純利益と損益計算書欄の287,000は赤記でもよい。